

# 浮き球募金での復興支援



ボーイスカウト横浜第8団

2012年11月18日

## 2012年3月20日 カブ隊募金活動



スカウトに「顔の見える」復興支援をさせてあげたいと思っていました。復興支援はこれから5年10年と続けていかばければならない活動です。そのためにも、誰のために・何のために役立っているのかがわかる活動をしたと思っていました。そこでこのブログに出会い、今年は「浮き球募金」に取り組むことにしました。20日に浮き球2個を飾り、スカウトは手作りにの募金箱をもって、募金を行いました。

いただいた募金は集計せずそのまま、浮き球にいれさせていただきました。感覚ですが7万円くらいはあったように思います。募金に参加してくれたスカウト25名全員の募金箱に、千円札が入っていました。

## 大船渡市三陸町綾里の 復興を支援します！

ボーイスカウト横浜第8団では、東日本大震災の復興支援のために、どのような活動ができるかを考えてきました。そしてあるブログを見つけ、大船渡市三陸町綾里の皆さんを応援することに決めました。

故郷を元気付ける何かが出来ないかと試行錯誤の末、綾里漁協に直接募金箱を送ることを目的とした募金活動を思いつきました。

(中略)

津波にのまれ散乱していた養殖わかめのいかだに付いていた浮き球を募金箱として利用することにし、綾里から浮き球を取り寄せ活動の一步を踏み出した次第です。



三陸町綾里は漁業の町です。

特に『三陸わかめ』は皆様にもお馴染みの海産物かとおもいますが今回の震災で壊滅状態となりました。

募金は、三陸わかめの生産を軌道に乗せる資金として活用し、綾里が元気になるよう役立たせて頂きます。

(大和田さんのブログ「綾里丸」より引用 <http://ryourimaru.com/info>)

### 今日の募金

は、すべて浮き球にうつし、スカウトの手で直接「綾里漁業協同組合」に届けさせていただきます。募金の結果や、綾里漁協訪問の様子は、横浜第8団のホームページでご報告させていただきます。

[http://web.me.com/bsyokohama\\_dai8dan/BSY8](http://web.me.com/bsyokohama_dai8dan/BSY8)



# 2012年8月綾里漁協訪問

カブスカウトからベンチャー／ローバースカウトへ  
3月20日にカブスカウト達が集めた浮き球募金を、  
ベンチャースカウトとローバースカウトが、8月にな  
って綾里漁業共同組合に届けました。

現地には宿泊場所もないことから、綾里駅前の空き地  
をお借りしてテントを設営させていただきました。



## 浮き球を綾里漁協へ

8月20日に現地入りし、翌日、綾里漁業共同組合  
に浮き球をお届けしました。その場で浮き球をノ  
コギリで切って、中の募金を出し、スカウトと漁  
協の職員の皆さんとで手分けをして、募金額を確  
認しました。

募金総額は、109,012円でした。

## 綾里駅での除草作業

浮き球をお渡ししたあと、三陸鉄道南リアス線の綾里  
駅構内の除草作業を行いました。2013年4月開通  
を目指して、復興作業を進めておられるとのことでした。  
大船渡第1団の寺澤団委員長や綾里漁協の山崎理  
事や浮き球募金を始められた大和田さんにご指導を受  
けながらの、奉仕活動になりました。





綾里漁協の佐々木靖男組合長(左から2人目)と川上明参事(左)に浮き球募金を手渡すボーイスカウト横浜第8団のメンバー＝大船渡市三陸町綾里

浮き球募金箱で綾里漁協に寄付  
大船渡の出身者ら  
大船渡市三陸町綾里出身で地元漁業復興を支援する「浮き球募

金」活動を行う千葉県鋸南町の大和田豊助さん(69)と関係者は21日、綾里漁協(佐々木靖男組合長)に約31万円を寄付した。

大和田さんと横浜市内で募金活動したボーイスカウト横浜第8団のメンバーらが訪問。小学生団員が漁業で使う「浮き球」に穴を開けた募金箱で集めた寄付金を、高校生や大学生の団員が届けた。

佐々木組合長は「綾里は漁業のまち。支援をいただき、さらに復興に弾みをつけたい」と感謝した。

団員らは三陸鉄道綾里駅の除草などボランティア活動も展開。日本大1年の福田朋友子さん(18)は「少しでも復興を手伝いたい」と話していた。

浮き球募金は大和田さんが地元綾里の復興のための昨年からの実施。千葉県、横浜市、沖縄県で募金活動を行っており、今後も支援金を届ける予定だ。大和田さんは「一人々の関心がだんだん薄れる中、工夫しながら募金活動を行い、綾里の漁業を支援したい」と語る。

# 現地でしかわからないこと

## 地盤の沈下

地震によって地面が70cm～100cmも沈下してしまい、少しの低気圧ですら浸水するのだそうです。地面には、乾いた「塩」が白く残っていました。満潮時になると壊れた堤防から海水が入り込む、少しの嵐で潮をかぶってしまう、そんな土地が何100kmにも渡ってできてしまったのです。8月20日は大潮でした。綾里の海岸でも、壊れた堤防から海水が入ってきています。ここにも住宅は建っていたのです。二度と家は建てられないだけでなく、土地としての資産価値も「0」になっています。それどころか、もっとも平坦で便利だった場所が、軒並み利用できなくなっているのです。復興計画作りの困難さを目の当たりにしました。



## 海で生きていくこと

三陸の海は、波一つない真っ平らな海です。この海が、あれだけの猛威を振るったことが信じられない思いです。綾里漁業協同組合の佐々木組合長がおっしゃっていた言葉が忘れられません。「それでも海で生きていくしかないんですよ、この町は」

海を恐れながらも海を愛し海とともに暮らしていく。綾里の町の人たちの生き様をお教えいただきました。

## またこの駅に来たい

綾里駅構内の草刈り作業終了後、ひとりのローバースカウトがこう言いました。

「今度は電車でこの駅に降りたい。」

三陸鉄道南リアス線が再開したら、もう一度ここに来ようと、メンバーみんなが思いました。この町が復興する姿を追いかけていきたい。そう感じた綾里漁協訪問でした。



# その他の支援活動

## RS隊スカウトによる義援金募集（2011.3.19-21）

ローバー隊梅山スカウトが呼びかけ、横浜8団ローバー隊として実施しました。横浜地区内にも広く呼びかけたところ、実に多数のスカウト／指導者に参加いただくことができました。

実施日時：平成23年3月19日（土）～21日（祝）実施場

所：新横浜駅付近公道

募金額： 3日間計：1,582,647円

送付先：日本赤十字社 912,647円

社会福祉法人 中央共同募金会 670,000円

<参加スカウト・指導者 3日間合計 14個団60名>



## CS/BS隊による義援金募集（2011.3.26）

新横浜駅前東日本大震災の義援金募集をおこないました。急遽決めた活動でしたが、19名のスカウトが参加してくれました。ボーイ隊始め各隊に支援を頼んだところ、なんと、RS隊スカウト2名、VS隊スカウト4名、BS隊スカウト18名、指導者1名、BVS隊2名、指導者4名が参加してくれました。

カブ隊の指導者11名、保護者7名、団委員1名、スカウトの弟妹2名を含め、71名が参加の一大集会になりました。募金総額は、345,416円でした。

## RSスカウトによる現地支援（2011.4.29-5.2）

横浜地区災害支援委員会による支援活動に、ローバー隊中島スカウトが参加しました。車が塀の上であり、ヘドロの山があり、半壊状態の家がちらほら。えも言われぬ悪臭が漂い、どこかじめじめした空気が流れている。テレビの映像そのままの、いえ、それ以上の惨状を目の当たりにしてきました。



## ユニセフ募金 (2011.11.13)

午前中はCS/BVS隊合同で、CS隊の6組にBVS隊のスカウトが2～3名混ざって、一緒に募金活動を行いました。新横浜駅前で、東日本大震災からの復興のために、大きな声で一生懸命募金をお願いしました。

募金箱は、ユニセフ所定のものに加えて、カブスカウトは一人一人が心をこめて手作りの募金箱を持参しました。午後は、CS/BVS隊スカウトから、BS隊スカウトに募金箱をリレーして、BS隊スカウトによる募金が行われました。

募金総額は 140,800円 でした。



## 仙台での復興支援 (2012.8.25-27)

横浜地区災害支援委員会の活動として、仙台市での支援活動にローバー隊中島スカウトが参加しました。被災された方の農地の除草と土起こし、雑草防止を兼ねたそばの種まき作業です。そのときに頂いてきたそばの種が、横浜でも芽を出しています。

## ユニセフ募金 (2012.10.28)

今年も新横浜駅前ユニセフによる義援金募集を行いました。

午前中は、カブ隊/ビーバー隊合同で実施。午後は、ボーイ隊が実施しました。

義援金総額は 89,765円 でした。

